

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊中少路プロジェクト	階数	地上9F
建設地	豊中市上野西3丁目	構造	RC造
用途地域	準防火地域、法22条による区域	平均居住人員	224 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2019年10月29日
敷地面積	2,314 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社ユマ設計 安達 裕一
建築面積	1,228 m <sup>2</sup>	確認日	2019年10月29日
延床面積	8,673 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社ユマ設計 安達 裕一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 76% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 76%

④上記+ 76%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.3

Q2 サービス性能: 2.9

Q3 室外環境(敷地内): 2.4

LR1 エネルギー: 3.9

LR2 資源・マテリアル: 2.9

LR3 敷地外環境: 3.2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物利用者の快適な生活環境を維持するため、断熱性や遮音性を高めるとともに環境への配慮として省エネルギー性を高めた建築物としている。	特になし。
<b>Q1 室内環境</b> F★★★★の建築材料をほぼ全面的に使用。省エネ等級4を取得して外皮性能を高め快適な室内環境としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 情報社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう大容量ブロードバンドを設けている。住宅性能表示基準の劣化対策等級3の取得により耐用年数の長い建物としている。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内には極力緑地を設け室外環境に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の抑制
<b>LR1 エネルギー</b> BEIを0.88確保し、設備システムの高効率化に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上げ材が容易に分別でき、再生利用可能な部材を使用している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0116

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)豊中少路プロジェクト						
	建設地	豊中市上野西3丁目						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							